

令和4年度

湘南医療福祉専門学校 自己評価

教育理念・目標・人材育成像

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
理念等は文書化するなど明確に定めているか	4	学生募集要項・ホームページに記載し、本校入学希望者に周知している。
理念等に応じた課程(学科)を設置しているか	4	理念に沿い、医療・福祉にかかわる課程を設置している。
理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか	3	オープンキャンパス等で保護者に周知している。就職先施設等にはキャリア支援センターより学校の理念を説明している。
学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか	4	実習においては、関連業界等の協力を得ており、実習内容についてもご理解をいただいている。
理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	学校独自のカリキュラムを取り入れ、また関連業界より講師を招いて講演会を行う等、学科ごとに特色のある教育活動を行っている。

【前年度の課題】

関連業界などにも教育理念を広く周知できるよう手段を考える。

【課題の達成状況】

キャリア支援センター設立により、就職ガイダンスを行う等、学校の特色・教育理念を知っていただける機会を増やすことができた。

【今後の課題】

学校運営

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
理事会、評議員会は、寄付行為に基づき適切に開催しているか	4	寄付行為に基づき開催している。
学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか	4	必要に応じた人数で運営をしている。
会議、委員会等の議事録(記録)は、開催毎に作成しているか	4	各会議は議事録をとり、議事録をクラウド上でいつでも閲覧可能とする。
規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4	就業規則は毎年見直しを行い、時代に合ったものを制定している。 改正時には社労士の指示を仰ぎ、適正な手続きを経ていく。
学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか	4	クラウド型の学籍簿システムを利用し、教職員間で情報共有を行っている。募集管理についてもシステム化している。
学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか	4	学籍簿システムに学生の成績・面談状況・校納金納入状況・就職活動状況を記録しており、内容を学生指導に利用している。
データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか	4	学生の情報は常に最新のものを入力し保管管理している。
システムのメンテナンス及びセキュリティ管理を適切に行っているか	4	学籍管理システムの担当者をおき、業者と連携のうえ適切に管理を行っている。学内サーバーは専門企業に保守管理を依頼し、セキュリティ管理を行っている。

【前年度の課題】

学籍簿システムはフォームが決められているものを使用しているため、自由度が低い。教職員がより使用しやすいよう、精査していく必要がある。

【課題の達成状況】

学籍簿システムは専門業者より提供を受けているため、使いこなすのに時間がかかるが、ひとつのシステムでほとんどの学籍業務を完了できる。さらに使いこなせるようマニュアルの整備等を行っていく。

【今後の課題】

教育活動

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
学科ごとに目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	各科で教育到達レベルを設定している。
授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか	4	専門科目・一般科目を適切に配分し、授業時間と単位数を明確にしている。
修了にかかる授業時数、単位数を明示しているか	4	学校ホームページ内の学校情報に各科のカリキュラムを掲載している。
授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	4	授業科目ごとに目標を定め、適切な形態で授業を行っている。
授業科目について、授業計画(シラバス・コマシラバス)を作成しているか	4	シラバスを作成し、学生がポータルサイトから閲覧できるようにしている。
教育課程は定期的に見直し、改定を行っているか	4	必要に応じて見直しを行い、改訂をしている。
授業評価を実施する体制を整備しているか	4	前期・後期の授業終了時期に、紙ベースでアンケートを配布し、回収している。
学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか	4	全学科・学年で授業評価を行っている。のアンケートはほぼ100%の学生から回収することができている。
教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	2	専任教員へ評価内容をフィードバックしている。非常勤講師については全員へのフィードバックがなされていない。
成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか	4	「学生のとびき」に記載し、学生全員に配布している。
資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか	4	国家試験対策授業を行い資格の取得率向上に努めている。また、不合格者は卒業後も授業の聴講を可能にしている。
授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	3	教員採用時に、履歴書および資格証などで必要な資格・資質・経験を確認している。
教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	3	教員研修会等などに積極的に参加している。
教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4	時間割を作成し把握している。学生数は学籍管理システムにて管理している。

【前年度の課題】

非常勤講師へのアンケート結果のフィードバック方法について引き続き検討する。

【課題の達成状況】

非常勤講師にアンケート結果を周知する際の方法については、引き続き検討課題となっている。

【今後の課題】

非常勤講師へのアンケートのフィードバック方法の統一化をはかるアンケート内容の見直しを定期的に行う。

学修成果

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
学生の就職活動を把握しているか	4	キャリアセンターにて、全学科の学生の就職状況を把握している。また、積極的に就職支援を行っている。
就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	キャリアセンターでデータ管理をしている。
特別講座、セミナーの開催等、授業を補完する学習支援の取組みはあるか	3	国家試験対策、関連業界人による講演会等を行っている。
合格実績、合格率、全国水準との比較などを行っているか	4	毎年全国水準および過去の本校との水準と比較を行っている。

【前年度の課題】

キャリアセンターの運営をより充実させ、学生支援を行っていく。

【課題の達成状況】

キャリアセンターでの学生支援により、各学科の就職希望者の希望分野への就職率が上昇した。

【今後の課題】

キャリアセンターと教員の連携を密にし、より良い情報を学生に提供できるようにする。

学生支援

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
学生の就職活動の状況を学内で共有しているか	4	キャリアセンターを設置し、各科の就職状況について把握している
就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4	キャリアセンターを設置し、個別の相談に適切に応じている。教員も個別の対応を行っている。
中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	4	退学者の退学要因、対応内容、人数をデータ化し把握している
指導経過記録を適切に保存しているか	4	各科にて記録をデータ保存している
留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか	4	介護福祉科の教員と留学生担当職員が対応している。
専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか	3	カウンセラーを整備し学生に周知を行っているが、利用率は低い。
留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか	4	在留資格やアルバイトに関する指導などは取次申請資格をもつ専門の職員が対応している。
学費の減免、分割納付制度を整備しているか	4	日本学生支援機構の給付奨学金の対象校となっており、入学者は学費の減免を申請することができる。 また、学校独自で校納金を分割して支払うことができる分納制度および延納制度を導入し、入学前の学資負担を軽減できるよう配慮している
大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか	4	日本学生支援機構の緊急応急採用の募集を年間を通して行っている。
公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか	4	公的制度の周知を掲示板で行い、支援に関する相談にも応じている。
全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	奨学金を含め、すべての制度の利用者はデータで管理している。
保健室を整備し専門職員を配置しているか	4	保健室を整備し、体調不良の学生は担任が対応して経過観察を行っている。
定期健康診断を実施して記録を保存しているか	4	年に1度健康診断を行い、卒業するまで記録を保管している。
近隣の医療機関との連携はあるか	3	学校と同じ建物内に内科・整形外科・皮膚科があり、体調が優れない学生は受診をさせている。しかし、医療機関に特別の受け入れ態勢をお願いしているわけではない。
遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか	4	学校から徒歩圏内に提携の学生寮がある。

学生支援

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか	4	大手企業が行っている学生寮のため、管理体制に問題はないと判断している。職員が寮の見学を行い生活指導体制を確認している。
学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4	寮を利用している学生の名簿および生活状況はすべて把握している。
大会成績など実績を把握しているか	4	すべての大会実績を把握している。
緊急時の連絡体制を確保しているか	4	クラスごとに緊急連絡網を作成している。また、学生および保護者のポータルサイト上で安否確認や連絡ができるようになっている。

【前年度の課題】

校内で急病者・ケガ人が発生した場合のシミュレーションを教職員で行い、迅速に初期対応ができるよう訓練を行う。

【課題の達成状況】

救命科の教員指導による校内救護のシミュレーションを行う予定。

【今後の課題】

非常時の際に臨機応変に対応できるよう教職員の訓練を行う。

教育環境

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	4	教育上必要な施設・設備・用具は法令に則り整備されている。 老朽化が見られる場所は適宜補修工事を行っている。
図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	4	学校開校時間内は各教室、各実習室を自習に使えるようにしている。
図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	4	必要な専門図書を揃えている。また、学習に役立つ図書を積極的に購入するよう教員に周知している。
学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	4	学生が自由に使用できるラウンジルームを設置している。
施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	4	建物内はバリアフリーとなっており、エレベーターや多機能トイレを設置し設置している。
手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか	4	トイレの手洗い所以外に、手洗いが必要な実習室には手洗い設備を設置している。
卒業生に施設・設備を提供しているか	3	図書室の利用、求人票の閲覧を可能としている。講演会などで施設貸し出し希望があった場合は基本的に有料で行っている。
施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	4	夜間事務員が校内を巡回し、異常があった場合は迅速に対応している。定期点検・保守はビルメンテナンス会社に委託して行っている。
施設の改築・改修、設備の更新の計画を策定し、適切に実施しているか	4	校舎の改修・設備工事については事前に計画を策定し、適正に行っている。
学外実習等について、実施要項・マニュアルを整備し、適切に運用しているか	4	学外実習実施要項を整備し運用している。
学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	3	学園祭・卒業パーティーは学生主体で行っている。体育祭については教職員主体で行っている。

教育環境

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか	4	毎年学生・教職員で防災訓練を行っている。消防計画を作成し、各教職員が班ごとに担当を受け持っている。
消防設備等の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか	4	法令に則った消防設備等の保守点検を行っている。

【前年度の課題】

【課題の達成状況】

【今後の課題】

学生の募集と受入れ

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか	4	進学ガイダンスや高等学校でのガイダンスに参加をして本校の説明を行っている。また、高等学校が行う授業や研修も積極的に受け入れをしている。
入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか	4	神奈川県専修学校各種学校協会の取り決めに従って受付を行っている。
専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか	4	神奈川県専修学校各種学校協会の取り決めに従って受付を行っている。
志願者等からの入学相談に適切に対応しているか	4	個別の相談にはメール、LINE、電話、対面面談等で相談に応じている。
学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に分かりやすく紹介しているか	4	毎年情報を更新し、各学科の特徴・資格・学校の雰囲気などが分かりやすいものを作成している。
体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか	4	高校生・社会人が参加しやすい土日に開催を行っている。平日の夕方にも説明会を実施し、他にも受験希望者の都合の良い日に合わせた個別相談も行っている。
志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4	土日の入試の他、受験者の都合にあわせ平日も推薦入試を行っている。また、コロナ禍で遠方から来れない方へはオンラインで面接を行っている。
学科ごとの合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか	4	すべてデータ化をし管理している。
学納金の水準を把握しているか	4	同分野の他校と比較し、妥当な金額となっている。
学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	募集要項・ホームページ上に明記している。
文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適正に取扱っているか	4	学生募集要項に明記し、適正に返還を行っている。

【前年度の課題】

少子化や大学進学志向の高まりで、入学者確保が苦慮する年度もある。オープンキャンパス参加者の受験率が低いことがあるため、いかに受験・入学につなげるかを検討する。

【課題の達成状況】

オープンキャンパス参加者は減少することなく推移しているが、受験率に大きな向上がないため引き続き検討課題とする。

【今後の課題】

学科によってオープンキャンパス参加者の受験率に差がある。一定の割合で受験に結びつけられるよう、より魅力的なオープンキャンパスを行う必要がある。また、学資支援についても積極的に行っている旨を周知していく。

財務

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	4	資料請求者・オープンキャンパス参加者・受験者・入学者の人数の推移を把握している。
設備投資が過大になっていないか	4	適切な規模で設備投資を行っている。
予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4	各科主任が予算編成を行い、経理部で精査のうえ理事長の承認を得ている。
予算と決算に大きな乖離を生じていないか	4	予算と決算に乖離は少ない。一定の金額以上の予算執行時には決裁文書を作成し、所属長が確認のうえ決算している。予算にないものに関しては、所属長、経理部、校長・理事長に稟議をあげている。
公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	4	ホームページ上で公開している。
私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	法令に基づき実施している。

【前年度の課題】

【課題の達成状況】

【今後の課題】

法令等の遵守

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等を適切に行っているか	4	必要な届け出を適切に行っている。
セクシュアルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	3	教員向けのアカデミックハラスメント研修を行い理解を深めた。 また、職員がハラスメントマネージャーⅡ種検定を取得した。
個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか	4	プライバシーポリシーを定め、本校ホームページに掲載している。
自己評価の実施に関する学則及び規定等を整備し実施しているか	4	規程を整備し、学則に明記している。
評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	本校ホームページで公開している。
学校関係者評価実施のための組織体制を整備しているか	4	理事長を委員長とする学校評価委員会を定め、実行委員を選出している。
設置課程・学科の関連業界等から委員を適切に選任しているか	4	各科の業界関係者、卒業生、学校近隣の方などに学校関係者評価委員を依頼している。

【前年度の課題】

ハラスメントの理解を深める、専門部署の設置。

【課題の達成状況】

教員へのアカデミックハラスメント研修を行い理解を深めた。
職員がハラスメントマネージャー検定を取得し、専門部署設置に向けて動いている。

【今後の課題】

引き続き専門部署設置を目標に担当者の教育を行っていく。

社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1	
地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか	4	神奈川県専修学校協会と連携し、「しごとの学び場」「チャレンジスクール」を開講している。
ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか	4	老人施設へのボランティア、横浜マラソン等のボランティア活動を行っている。
ボランティアの活動実績を把握しているか	4	活動実績の報告書を作成している。
ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4	報告書を学内で供覧している。

【前年度の課題】

【課題の達成状況】

【今後の課題】